

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-02-02-01
事務事業名	男女共同参画啓発事業		
事業開始年度			
総合計画	大項目 基本目標	住民主体の協働のまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	ふれあい豊かなまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	男女共同参画社会の形成	職・氏名
			電話
			0 8 6 9 - 6 4 - 1 8 2 3

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	市民・行政・事業者
目的 (何のために)	男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われてきたが、社会的につくられた性別の意識や、性別による固定的な役割分担に起因する課題は今なお存在している。市としては、男女共同参画のまちづくりに関する政策を定め、男女が共に支え合い、輝いて生きることができ男女共同参画のまちづくりを推進する。
行政活動 (どのような方法で)	男女共同参画に関するイベント、セミナー、出前講座の開催や標語の募集、広報誌等による男女共同参画の啓発を行う。また、男女共同参画交流サロン(ウィズびぜん)の利用を促進し、市民への情報提供を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	男女共同参画への意識づくり。市民が今まで当たり前と思われていた慣行や慣習を男女共同参画の視点に立って見直し、人権の理念に基づいた男女共同参画の意識啓発や促進を図ることにより、備前市の男女共同参画のまちづくりが推進できる。

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績						
活動実績	実施項目		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	きらめきフェスタ(参加者数)	人	650	700	740	
	啓発標語募集事業(応募者数)	人	2,552	2,692	2,666	
	ウィズびぜん運営事業(利用者数)	人	2,225	2,229	1,890	
	講座等啓発事業(参加者数)	人	386	331	497	
	広報啓発事業(掲載件数)	件	13	13	13	
	事業費	直接事業費	千円	1,578	1,901	1,387
		人件費	千円	6,500	6,385	6,794
		事業費計	千円	8,078	8,286	8,181
	財源	国県支出金	千円	728	629	950
受益者負担		千円				
一般財源		千円	7,350	7,657	7,231	
必要人員		人	0.68	0.65	0.70	
結果指標	結果指標名		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	ウィズびぜん利用者数	説明				
	結果指標量	人	2,225	2,299	1,890	
	対前年比	%	-	103.3%	82.2%	
	活動コスト	円	1,998,900	1,854,500	1,942,792	
結果指標	単位当たりコスト	円	898	807	1,028	
	標語応募者数	説明				
	結果指標量	点	2,552	2,692	2,666	
	対前年比	%	-	105.5%	99.0%	
	活動コスト	円	1,019,000	1,003,500	455,480	
単位当たりコスト	円	399	373	171		

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	式又は説明	市民意識調査による
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	13.90	18.2	18.2
対前年比	-	130.94%	130.94%
到達目標値	20	到達目標年度	平成23年度

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	
	対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	課題認識
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	男女共同参画社会基本法第9条、備前市男女共同参画まちづくり条例第4、5条に市の義務が定められており、妥当な事業である。	
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	男女共同参画の意識を地域に根付かせるために、市が積極的に働きかけ、また、全庁あげて、あらゆる施策の実施に、男女共同参画の視点を反映させるよう取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	市民も積極的に関与し、ニュースも高い事業である。	
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		B
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手段	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	講座、講演等にNPOまたは国、県、市の職員、また関係機関との共催による実施など、民間活力を利用し、経費節減に努めている。	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職場	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善している	有効性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		B
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	成果は向上しており今後も向上する見込みである	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	今後、成果指標は向上する余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	事業実施等で積極的に市民意見を反映している	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	事業に実施している市民にとっても、計画立案に参加しやすい事業である。	

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 2,500人	結果指標量 2,700点
成果指標量	15%	

総合評価		評価区分 <A-E>	B
様々な手段により、広く市民各層を対象として、継続的に啓発事業を実施し、意識啓発を図ることにより、備前市の男女共同参画のまちづくりを実現させる。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	男性参加による講座の対象者拡大	平成20年度	男性の参加を促し、幅広い年齢層の啓発
有効性	講座の企画内容の工夫	平成20年度	情報交換や参加しやすい講座を行い、人材育成や能力開発を進める。
有効性	市民等の協働の企画	平成20年度	市民の希望する講座の企画をすすめることで、参加を促し啓発の拡大につながる